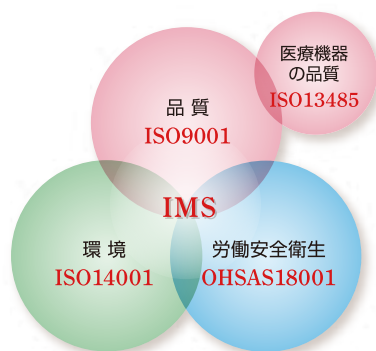


A-d 統合マネジメントシステム(IMS)

統合マネジメントシステム (IMS : Integrated Management System)



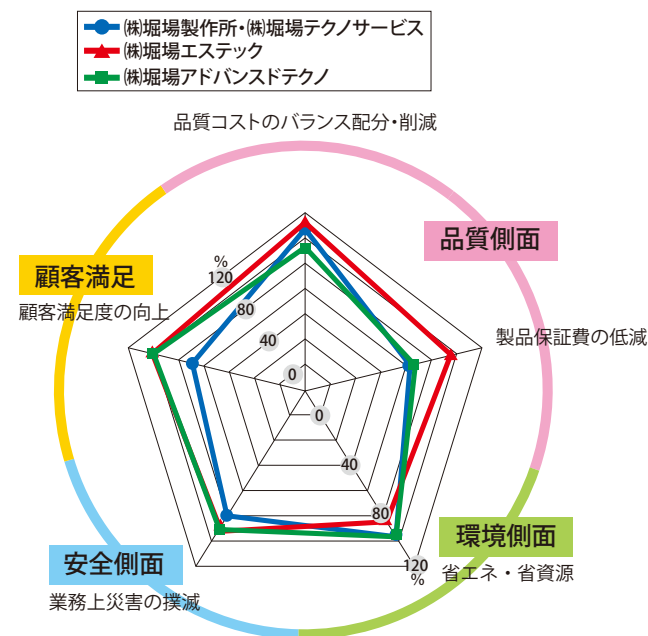
HORIBA グループでは、品質 ISO9001、環境 ISO14001、労働安全衛生 OHSAS18001 を統合したマネジメントシステム (IMS : Integrated Management System) を運用しています。また、(株)堀場製作所および(株)堀場エステックでは、IMS に医療機器のための品質マネジメントシステム ISO13485 を加えて登録証を取得しています。海外グループ会社においても、主要生産拠点で品質 ISO9001 および環境 ISO14001 の認証取得を促進しています。

2011年4月には、一般財団法人日本品質保証機構 (JQA) からグループ IMS としての「JQA 統合マネジメントシステム運用証明書 (JQA-IG0001)」を取得しています。

2013年3月には、(株)堀場製作所および(株)堀場エステックでは、医療機器のための品質マネジメントシステム ISO13485 を統合し、JQA から「JQA マネジメントシステム登録証 (JQA-MD0010)」を取得しています。

また、(株)堀場製作所京都分析アプリケーションセンターは、公益財団法人日本適合性認定協会 (JAB) から「ISO/IEC17025 : 2005 (RTL00880)(化学試験)」の試験所として認定を2001年6月に取得し、グループ会社の(株)堀場テクノサービス 本社 CS 部は、独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) から「ISO/IEC17025 : 2005 (ASNITE 0033C) 排出ガス測定装置」の校正事業者としての認定を2009年8月に取得しています。

2012年IMS目標達成度レーダーチャート



A-d 統合マネジメントシステム (IMS) 2012年の取り組み結果(1)

2012年IMSの取り組み結果

「品質面」では、「品質の向上」を重要な課題として捉え、世界中のどの地域においても同一品質の製品・サービスをご提供できるようなお客様満足の上をめざしました。また、設計・生産・購買の各プロセスで品質向上に取り組むために、生産協力会社とは、生産協力会社会議で情報交換を行い、製品不良の低減につなげられました。

「環境面」では、事業所内のCO₂排出量削減について省エネを考慮した老朽設備の更新や、高効率照明への転換を推進しました。また、2010年に改正された省エネ法の対応に加えて2012年も2011年に引き続き東日本大震災以降の政府・各電力会社の節電要請に対し、夏場および冬場の室温管理の徹底、照明の一部削減や不要箇所消灯の徹底、エレベーターの一部運転停止、不使用機器の電源OFFなど社内の節電・省エネ活動を展開しました。このような活動により2011年比で絶対量では削減効果があり、省エネ法に準じて設定した当

社目標を達成することができました。

他に継続的な取り組みとして、物流におけるモーダルシフトの推進や新製品の環境適合設計（環境に配慮した設計）、および2010年に社内で行った省エネアイデアコンテストで出されたアイデアを具現化して国内グループ全社への展開も行っています。

「労働安全衛生面」では、業務上災害ゼロをめざし、リスクアセスメントを活用したPDCAサイクルの円滑な循環を推進しましたが、国内グループ会社全体で7件の業務上災害が発生しました。発生した災害内容については関連部門に災害防止の教育を行うなど、国内グループ会社全体に水平展開を実施しました。

健康管理面では、2012年5月「こころとからだの健康づくり」を宣言、グループIMS方針に追加し、行動指針に展開して社員の健康増進に努めています。また、定期健康診断結果にもとづいて、産業医・保健師を始めとした専任産業保健スタッフが、個々人の働き方・生活習慣

に基づいた面接・指導を行っています。

メンタルヘルスについては管理職・社員教育に注力し、社員が「おもしろおかしく」を体現できるよう働きやすい会社作りに取り組んでいます。また、『こころとからだの健康づくり』を目的に、横断的組織メンバーで構成されたヘルスアップ推進プロジェクト活動も推進し、更なる社員の健康保持増進につなげています。

これら品質・環境・労働安全衛生の目標についてトータルにとらえ、両立できるよう改善目標を設定・抽出する際に品質・環境・労働安全衛生面への影響を考慮しています。

お客様満足にお応えするため、さらに社会的責任を全うするため、本来の業務に重点を置きながら、複雑化するオペレーションに対応できるよう心掛けています。

A-d 統合マネジメントシステム (IMS) 2012年の取り組み結果(2)

2012年 HORIBAグループIMS方針・目的・目標

グループIMS方針	グループIMS目的	グループIMS目標	グループIMS目標値	評価
<p>①私たちHORIBAグループは、世界中のどの地域においてもFirst Class Qualityの製品・サービスを通して、お客様のニーズにお応えします。</p> <p>②私たちの技術を応用し、科学技術の発展と環境、健康、省・創エネルギーに貢献するとともに、法規制及び社会的規範を遵守することを通じて、ステークホルダーとの共栄を図り、社会の発展のために積極的に寄与します。</p> <p>③グループ経営方針に則り、グループ会社全体の価値創造のため、達成計画を策定し、継続的改善に取り組みます。</p>	<p>2012年 HORIBAグループ方針 「HORIBA PREMIUM ～ Create First Class Value for MLMAP ～ 高品質な価値の創造 ～ 2015年中長期経営計画達成に向けて～」</p> <p>IMS目的 ①企業価値を創造する 1) グループIMSの構築を推進する</p> <p>②HORIBAブランドを向上する (顧客満足度の向上をめざしたものづくり) 2) 総合品質の向上を図る 3) 顧客要望に迅速に対応する 4) 社内外のルールや倫理綱領を順守する</p> <p>③安全で高効率なクリーンファクトリー造りを推進する(企業損失の防止) 5) 地球環境の保全に貢献する 6) 生産・業務の効率改善を図る 7) 業務上・通勤途上災害ゼロに挑戦する</p>	品質コスト(予防・評価・損失)の バランス配分と圧縮 (製品保証費の低減)	製品保証費を前年より削減する	△
		省エネ・省資源 (改正省エネ法対応：前年比以上削減)	原単位CO ₂ 排出量前年比1%以上削減	○
		労働災害の撲滅	業務上災害・業務上交通災害(休業災害・ 不休業災害)をゼロにする	○
			職業性疾病ゼロを継続する	○
			通勤途上災害(休業災害)をゼロにする	○
		こころとからだの健康づくりの推進	健康診断二次検査受診率をアップする	○
			メンタル不調者数を低減する	○
		業務上交通事故の低減	加害人身事故をゼロにする	△
			自責事故(加害事故・自損事故)件数を 低減する	△
		顧客満足度の向上 特定重要顧客の評価ランク向上	お客様満足度を現状より改善する	○

○=目標達成, △=改善傾向, ×=悪化傾向

A-d 統合マネジメントシステム (IMS) 2013年重点施策

2013年HORIBAグループ方針

「HORIBA PREMIUM」

～ Create First Class Value for MLMAP ～

高品質な価値の創造

～ 2015年中長期経営計画達成に向けて～

2013年グループIMSの取り組み計画

方針・目的・目標 設定の基本的な考え方

1. グループIMS方針は、HORIBAグループの経営方針を反映し「HORIBA Group is One Company」(グループ経営)の観点から展開します。
2. グループIMS目的は、IMS方針との整合性と組織としての達成度を考慮して設定しています。
3. グループIMS目標は、お客様に安心して信頼していただけるよう「品質の向上」に重点をおいて設定しています。
また、2012年5月に宣言した「こころとからだの健康づくり」の方針を追加しました。

2013年重点施策

① 品質コスト(予防・評価・損失)の

バランス配分と圧縮

- ・お客様に安心・安全な製品をご提供
- ・お客様にスピーディな対応をご提供
- ・修理スピードの向上
- ・お客様に同一品質の製品をご提供
- ・設計品質の向上(外注含む)
- ・生産品質の向上(外注含む)
- ・部品品質の向上

② 省エネ・省資源

- ・エネルギー・資源の有効利用
- ・ゼロエミッションの維持
- ・化学物質の有効利用
- ・EU改正RoHS指令への対応を含む環境に配慮した新製品の開発

③-1 安全管理

- ・労働災害撲滅
- ・交通安全

③-2 衛生管理

- ・健康増進
- ・メンタルヘルス対策の推進

④ 顧客満足の向上

- ・製品・サービスのお客様満足度向上

A-d 2013年の取り組み計画

2013年 HORIBAグループIMS方針・目的・目標

グループ統合マネジメントシステム (IMS) 方針	グループIMS目的	グループIMS目標	グループIMS目標値
<p>① 私たちHORIBAグループは、世界中のどの地域においてもFirst Class Qualityの製品・サービスを通して、お客様のニーズにお応えします。</p> <p>② 私たちの技術を応用し、科学技術の発展と環境、健康、省・創エネルギーに貢献するとともに、法規制及び社会的規範を遵守することを通じて、ステークホルダーとの共栄を図り、社会の発展のために積極的に寄与します。</p> <p>③ こころとからだの健康を大切に、明るく活気のある職場づくりを推進します。</p> <p>④ グループ経営方針に則り、グループ会社全体の価値創造のため、達成計画を策定し、継続的改善に取り組みます。</p>	<p>2012年 HORIBAグループ方針「HORIBA PREMIUM ~ Create First Class Value for MLMAP ~ 高品質な価値の創造 ~ 2015年中長期経営計画達成に向けて~」</p> <p>IMS目的</p> <p>① 企業価値を創造する</p> <p>1) グループIMSの構築を推進する</p> <p>② HORIBAブランドを向上する (顧客満足度の向上をめざしたものづくり)</p> <p>2) 総合品質の向上を図る</p> <p>3) 顧客要望に迅速に対応する</p> <p>4) 社内外のルールや倫理綱領を遵守する</p> <p>③ 安全で高効率なクリーンファクトリーづくりを推進する(企業損失の防止)</p> <p>5) 地球環境の保全に貢献する</p> <p>6) 生産・業務の効率改善を図る</p> <p>7) 業務上・通勤途上災害ゼロに挑戦する</p>	<p>品質コスト(予防・評価・損失)のバランス配分と圧縮 (製品保証費の低減)</p>	<p>製品保証費を前年より削減する</p>
		<p>省エネ・省資源 (1) エネルギー使用効率前年度比1%向上 (2) 廃棄物削減につながる活動の展開</p>	<p>(1) CO₂排出量前年比1%削減 (2) 廃棄物削減につながる活動の展開</p>
		<p>【安全管理】 (1) 労働災害防止 (2) 交通安全</p>	<p>(1) 労働災害防止[(業務上災害・業務上交通災害/職業性疾病/通勤途上災害)をゼロにする] (2) 交通安全[(死亡事故/加害人身事故/自責事故(加害・自損))をゼロにする]</p>
		<p>【労働衛生】 (1) 健康確保 (2) メンタルヘルス</p>	<p>(1) 健康確保[(健康診断受診率)を100%にする・(二次検査受診率)をアップする] (2) メンタルヘルス[(新規メンタル不調者数)を前期より減少させる] [(メンタル不調再発者数)を前期より減少させる]</p>
	<p>顧客満足度の向上 特定重要顧客の評価ランク向上</p>	<p>お客様満足度を現状より改善する</p>	